

京浜病院が「高齢者のためのいい病院」で一番目に紹介されました。

### 患者から見た高齢者の病院

東京の高齢者の病院について書かれた本は、これが初めてだと思います。全国のいい病院とか、名医のいる病院についての本は多いのですが、東京の高齢者の病院について具体的に病院名を挙げて紹介した本は、今までなかつたのです。そういう本が必要だと思った理由について書いておきたいと思います。

\*私たちは、私たちの調査によつて、いい病院を選びました。この本を参考にして、皆さん自身が調べて、いい病院を選んでいただきたいと思います

(前書きより一部抜粋)

## その時

- 老いた親あるいは配偶者をどこに入院させるか。
- リハビリはどこでしてもらうか。
- 療養ならどこがいいか。
- 痴呆はどこで面倒をみてもらうか。

## 患者の立場で選んだ50の病院



【編者紹介】青山伶（あおやま やすし）◎高齢福祉部長、企画審議室計画部長、政策報道室理事などを歴任。99年から2003年まで東京都副知事。◎-2004年4月から明治大学公共政策大学院教授。専門は、自治体政策、都市政策、危機管理、著書に『東京都市論』帽β心活性化地図』（かんき出版）、『石原都政副知事ノート』（平凡社新書）ほか多数。

かんき出版 定価1680円



# 京浜病院・新京浜病院

脳神経外科の専門病院がスーパー・カル・ブランドをめざし、介護療養型医療施設へ転換した。都心部には貴重な療養病床である

## ◆都心部には珍しい介護療養型医療施設

「京浜病院」は、東京湾に程近い大田区大森にあり、京浜会によって、隣接する「新京浜病院」と一括りに運営されています。

病床は、京浜病院に75床、新京浜病院に81床で、合計156床がありますが、

両院とも、すべての病床が介護保険の適用される介護療養型医療施設となっています。

介護保険施行当時、大田区には介護療養型医療施設は4施設220床ほどしかありませんでしたが、その少ない病床のうちの約7割を京浜病院・新京

浜病院が運営しており、地域社会には貴重な存在となっています。同院は、信頼され、「スーパー・カル・ブランド・京浜」として地域社会に定着することを願っています。

## ◆脳神経外科から介護療養型医療施設へ

診療科目として、内科、外科、整形外科、リハビリ、脳神経外科、人工透析科を有する京浜病院は、もともとは

診てきましたが、重度の脳障害患者を引き受け方針へと転換し、さらにそ

## ◆歩けない人には人工透析も

京浜病院は、毎日の昼間と隔週夜は透析日としており、人工透析を受けることができます。また、歩くのが不自由になった人についても、入院透析ができるようになっています。

## ◆長期療養に適した病棟

「京浜病院」の病室は、個室7室、3人室12室、4人室8室となっており、「新京浜病院」は、個室2室、2人室6室、3人室5室、4人室13室を備えており、こちらも明るくゆったりとした間取りで長期療養に適しています。

両病院の病棟では、高齢者介護の基本は離床促進にあるとの考えに基づいて、患者がベッドから起き上がり、お

いしく食事したり、家族と団欒したり、外出したりするような療養介護生活を送れるよう、専門的な介護・看護やリハビリテーションが行われています。

【療養】が必要な方に紹介したい病院



## ◆サービスの質向上に向けて

京浜病院では、医療相談室に配置し、入退院や退院

す。

また、花見、節分、七夕、ひな祭り、盆踊り会、敬老会、クリスマス会、毎月の誕生日会など、季節感のある内容

の楽しみを引き出すレクリエーション活動が活発に行われています。

くり返し勉強会を開いて、サービスの質の向上をめざしています。

こうした努力によって、患者が残りの人生を十分に楽しむことができる療養空間をつくっています。

この転換については当初、周囲から「うまくいかないだろ」という声があつたようですが、京浜病院院長の熊谷頼佳氏は、「脳神経外科の専門病院として末期的な重症患者や終末期にあら患者に対する治療とケアを日常的に行ってきたからこそ、行き場を失つた重度の患者の受け皿を用意する必要性を感じ、また脳神経外科として培った知識やノウハウを活かすように、介護療養型医療施設への転換を選択した」と語っています。

介護療養型医療施設として、寝たきりの原因と状態にあわせて介護し、状態に応じたりハビリで寝たきりを改善することに力を尽くしています。

そして、急性期病院としてのこれまでの実績を活かし、万能の急病にも、

素早く対処できる専門性と設備を備えていることが同病院の強みとなっています。